



シラバス参照

タイトル「2018年度シラバス」、フォルダ「**経済経営学類**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	教養演習 I		
担当教員	菊池 壮蔵		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:F
講義室			
開講学期	前期		
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
準備事項			
備考			
ナンバリング			
授業概要とねらい	ナレッジ・リテラシー(「情報」獲得の作法) 日本語でいう「情報」には、インフォメーションからインテリジェンス、ナレッジ、ウィズダムまで様々な内容が含まれている。クイズ番組の「解答」だけが「知識」ではないし、教科書に書かれている「内容」だけが「正解」でもない。現代の溢れかえるほどの「情報」のなかから、自分にとって正しく必要な「情報」を獲得する技術を、フィールド、ビデオ、新聞、書籍、ネットなど、できるかぎり多種多様なメディアや自分自身の五感を駆使しながら探ってみよう。		
望ましい水準	様々な形態をとった「情報」の諸次元について自覚的に接することができるようになること。		
授業計画	<p>主に情報の「獲得」「処理」術、「表現」「説得」技法を実践的に学ぶことを予定している。 ※ なお、演習内容に関わって、「附属図書館」の利用手法についての独自ガイダンスを行う場合がある。 ※ また、なんらかの形で学外研修プログラムを行う。</p> <p>例年のクラスでとりあげたテーマなどは参考までに(順不同)。</p> <ol style="list-style-type: none"> 様々なメディアにふれる <ol style="list-style-type: none"> 身の回りの「情報」(身体・五感というメディア) →まずは、キャンパス内と周辺の地域を歩き回って、普段気にもとめない景観のなかにかくれている「自然情報」や「歴史情報」「地形情報」「技術情報」等々にふれてみよう。(天候の状態によってスケジュールは前後します。通称:お散歩ゼミ) 新聞・テレビなどのマスメディアの「情報」 →入ってくる「情報」は、どこまで「理解」出来ていたのか確認してみる(新聞の経済記事を例に)。 「情報」の作られ方、送られ方について吟味してみる。 →同じニュースが、作り手や伝え手によってどう変わり得るか検証してみる(戦争報道等を例に)。 ネットの情報について考える <ol style="list-style-type: none"> ネットの仕組みについての様々なキホン事項(インターネットの起源や理念など) 技術的な仕組みやコンテンツの基盤について 「インターネットの匿名性」という嘘(調べればバレバレという事実:なりすまし事件) 書籍(印刷媒体)の情報 <ol style="list-style-type: none"> 図書館の利用 資料・史料やデータのウラを読みウラをとる(図書館広報の『書燈』参照) 映画やドラマ、小説や漫画などの娯楽作品にかくれている「記号」情報 <ol style="list-style-type: none"> 図象やシンボルに含まれる「情報」(B級映画の鑑賞から) 表現様式に含まれるパターン化された「情報」(宗教画などのお約束表現を知る) その他の情報… 		
教材・教科書	使用しません。 大学なのだから、「教科書」という発想は捨てて考えることから始めましょう。		
参考図書	特に指定はしません。必要な場合は適宜演習内で指示します。		
参考URL			

授業以外の学習	新聞を読みましょう。 購読料が負担なら、図書館に行けば何種類もタダで読めます。 しかも、同じ「案件」の取り扱い方・報道の仕方を新聞各社ごとに比較できます。
成績評価の方法	演習への参加意識の高さ 自学自習の程度 タームペーパー(学期末他の各種レポート) これらを勘案して評価する。
成績評価の基準	A:すべての項目で非常に高い水準である。 B:総合的に高い水準にある。 C:すべての項目で一定水準である。 D:授業評価の方法のうちで2つが未達成である。 E:すべての項目で未達成である。
オフィスアワー	特定の時間を定めない。メールにて調整し、適時相談に応じる。
留意点・注意事項	
その他	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け1	幅広い教養／多角的・総合的思考(幅広い教養1)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け2	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け3	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け4	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け5	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け6	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け7	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け8	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け9	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け10	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け他	

